

一六  
——日本の金で約百二十圓位で出来上り、獨逸では、百圓以下でも出来るさうですが、さて、日本ではどうかと申しますと、材料の値段や、勞銀及び仕事の能率などの點から考へると、どうしても百六十圓以上かかるのであります、ですから、船主が新造船をわが國で註文すると云ふのは、値段の點からでなくて、造船所に對する色々の因縁や、持合せの材料を使ひこなすが爲めに、双方不利益を承知の上で契約を結んで居るのであります、まともに外國と、競争するには、どうしても仕事の能率を高めるより外に方法はないのであります。

然し、外國の造船所でも、この頃は随分困つて居る模様で、かの英國で有名な「ヤロー」會社でさへ、不景氣のためにとり／＼工場を閉鎖することに決め、本年十一月三十日から、いよいよ實行すると云ふことを豫じめ從業者に對して通告しました。

その通告文に次の様な事が書いてあります。「今日英國では、同盟罷行が頻りに起り生産の能率が減り、引き請け仕事に對するごたごたが各方面に起つて、造船の費用が

極端に高くなつたから、十一月末日限り本工場を閉鎖する、然し、これ等の事情が、元の様に回復したならば、再び工場を開始する、但し、研究所だけは閉鎖中と雖も尙研究を続け、將來の發展に備へん云々」——あの名高い造船所ですらこの始末であります、われわれは斯様な不吉な出来事の起らない様にお互に努力しなければならぬと考へます。

造船業は御承知の通り色々の材料を製造家から買入れて、これに加工する商買でありますから、造船業が不景氣になると、直ちに製鐵業、機械業、金物業、石炭業、その他各種の製造工業も打撃を受け結局、我國の産業の全體に影響を及ぼすことになるのですから、この事業に従事するわれ／＼は單に、自分達の「パン」の問題ばかりでなく、廣く、世間の人の「パン」問題に關係するものであると云ふ考を、持たねばならないのであります。

以上、私が述べました事を、取りまとめて、一面から考察してみると、どうしても